

地域計画

策定年月日	令和7年2月28日
更新年月日	()
目標年度	令和14年
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	水口町杣中 (杣中)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	45.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	45.1 ha
② 田の面積	43.9 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	45.1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	10.8 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区でも、戸数の減少と高齢化が進んでいるが、農地(田)の90%以上の圃場を法人化した集落営農組織と1名の認定農業者で耕作しており、更に集落営農組織と認定農業者の間で、一部耕作する圃場を交換し、集積化を図っている。ただ、営農組織も若手が少なく、認定農業者も60代後半で後継者も見つかっておらず、10年後には、今の現状を維持出来るか、全く見通せない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

現在、行っている農地の集積化を更に進め、池の水が主だった水源の山間部は、集落営農組織が担い、杣川の水が利用できる下の地域は認定農業者か他の農業法人が担うようになるのが、理想。合わせて、スマート農業の導入を推進し、効率化を図ると共に、外部に委託していた防除作業等も地域で出来るようにする。また、農業で生計を立てたい方が1名おり、地域でサポートして行きたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

現在、行っている農地の集積化を更に進め、池の水が主だった水源の山間部は、集落営農組織が担い、杣川の水が利用できる下の地域は認定農業者か他の農業法人が担うようになるのが、理想。合わせて、スマート農業の導入を推進し、効率化を図ると共に、外部に委託していた防除作業等も地域で出来るようにする。また、農業で生計を立てたい方が1名おり、地域でサポートして行きたい。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	87 %	将来の目標とする集積率	90 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

地権者と集落営農法人との契約と、地権者と認定農業者との契約が異なるため、その問題をクリアし、農用地の集積を更に進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1)農用地の集積、集約化の方針
上記の将来のあり方に記載したように、農用地の集積を更に進める。そのためには、地権者と集落営農法人との契約と地権者と認定農業者との契約が異なるため、その問題をクリアしなければならない。
(2)農地中間管理機構の活用方針
現状、中間管理機構の活用は考えていないが、将来的に、他所在住の法人や認定農業者に農用地の活用を依頼する場合には、地域全体の農用地を中間管理機構に貸し付ける形になる。
(3)基盤整備事業への取組方針
基盤整備事業としての農用地の大区画化、汎用化は現状必要ではないが、圃場整備から50年弱経過しており、暗渠設備が十分に機能せず、水管理が難しい圃場が多数あり、中間管理機構関連の農地整備事業の活用も考えながら、地域で少しずつでも、修繕を進めていきたい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
多様な経営体は必要としないが、「区内の農地は区民が守る」をモットーに30代から50代の区民の農業への参加意識を高め、農作業に携わる人員の確保と育成を地域全体として地道に進めていきたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
集落営農法人では、経営の視点から、現状の装置や機械を最大限活用して、農業協同組合には、法人として出来ない作業と非効率な作業のみを委託する方針に変わらない。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ②杣中地区において、管理協定を早急に締結し、地域の特産物である水稻を段階的に有機農業に切り替えていく。
- ⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況などを考慮の上、出荷・調製施設を整備し、農業用施設の集約化を進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和14年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
集		水稻,麦,大豆	25.1 ha	25.1 ha	水稻,麦,大豆	25.1 ha	25.1 ha	赤	
認定		水稻,飼料作物	14.2 ha	13.6 ha	水稻,飼料作物	14.2 ha	13.6 ha	青	
利用者		水稻	1.4 ha	0.0 ha	水稻	1.4 ha	0.0 ha	緑	
利用者		水稻	1.1 ha	0.0 ha	水稻	1.1 ha	0.0 ha	黄	
利用者		水稻	1.3 ha	0.5 ha	水稻	1.3 ha	0.5 ha	ピンク	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		43.1 ha	39.2 ha		43.1 ha	39.2 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)